

「漆小学校の漆バラ踊り伝承活動の取組」

1 学校名

始良市立漆小学校

2 学年・人数

1～6年全児童(計19人), 教職員, PTA保護者, 地元の中高生

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

漆小学校体育館, 運動場(8～9月)

(2) 発表の日時・場所

平成30年度漆小学校・漆校区コミュニティ合同秋季大運動会(9月)

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能, 伝統行事や史跡について

(1) 名称

漆バラ踊り(うるしばらおどり)

(2) 由来

豊臣秀吉の朝鮮出兵時の凱旋祝いとして踊り始めたともいわれている約400年の歴史をもつ伝統芸能である。昭和期に入り, 伝承活動が久しく途絶えていたが, 昭和52年有志の手により復活, 昭和56年には「漆バラ踊り保存会」が設けられ, 地域全体で継承活動に努めている。漆小学校では, 全児童に加え, 教職員も一緒になり継承活動に努め, 毎年9月の秋季大運動会で, 漆バラ踊りを地域住民に披露している。

(3) 構成等

ドラ打ち2人・鉦打ち約6人・バラ打ち約20人で隊形を組み, 竹バラに紙を張ったバラデコと鉦を打ち鳴らして踊る。この踊りは, 「三ツベ・カラ太鼓・セツベ・門掛り・ビナマキ・ビナほどき・歌・引き」の八つの形からなり, これは島津の軍が「ビナマキ」(渦巻き)戦法で攻め落とした様子を, バラ踊りの形で後世に伝えたものであると言われている。現在は踊り手も少なくなり, 踊りも昔より簡素化されている。

5 保存会や地域との連携の具体

現在, 漆バラ踊りは「漆バラ踊り保存会」を中心に, 地域の指導者の指導のもと, 漆小学校の全児童, PTA保護者, 教職員, 地元の中高生が一緒になって, 漆小学校・漆校区コミュニティとの合同運動会で披露している。

今年も漆小学校全児童19人, 地元の中高生4人, PTA保護者4人, そして小学校の先生方も3人参加し, 夏休み後半から運動会に向けて練習に励んだ。運動会当日は, 大変蒸し暑かったが, 運動場で漆バラ踊りを披露し, 子どもたちの精一杯頑張る姿に, 多くの校区民の方から盛大な拍手をいただいた。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

漆校区コミュニティ協議会に事務局を置き、日程の調整、会計等を行っている。その他に、漆バラ踊り保存会・地元の指導者との連携を図ったり、PTAとの連絡・練習日の調整を行ったりしている。そして、PTA・保護者が道具等の修繕を行い、様々な協力をもらい活動している。

毎年秋の合同運動会で、漆バラ踊りを披露していることから、夏休みの後半から練習に入っている。週1回夕方1時間程度、保存会の皆さんの指導を仰ぎながら、練習に励んでいる。

年々保存会員及び漆小学校の児童数も減少しており、後継者を育てる意味でも、漆小学校の児童以外に、漆バラ踊り参加者を増やしていく何か手立てを講じる必要がある。

7 取組の様子（発表の場）－漆小学校・漆校区コミュニティ合同運動会の様子から－



バラ打ち



鉦打ち



*平成30年度の様子



8 参加者児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【漆バラ踊り児童の感想】

- 今年の運動会では、運動場でバラ踊りをすることができました。衣装を着けて、バラ踊りをみなさんの前で発表することができて良かったです。
- 私は1年生のときからずっと漆バラ踊りをしてきました。今年の漆バラ踊り練習が一番楽しく、一生懸命できました。今年は運動会で全部披露できたので良かったです。すごく蒸し暑かったけど、最後まで一生懸命できたのがうれしかったです。ずっとこの漆バラ踊りが運動会で行われるといいなと思います。
- バラ踊りに初めて参加しました。踊りを覚えるのがすごく難しくて、衣装をつけると、すごく重くて大変でした。でも、がんばってみんなで踊ると、とても楽しいんだなと分かりました。